令和８年度 YNU研究拠点 中間報告会



統計的因果推論研究拠点

Research Center for Statistical Causal Inference

研究拠点長：黒木学

研究拠点概要

○ 目的

観察データに基づいて因果関係を明らかにする統計的因果推論の理論と方法論を研究し、その成果を社会に還元する

○ 3つのミッション

01

統計的因果推論技術の体系的構築

理論と方法論の体系化

02

三位一体型の研究展開

理論・技術・実践の循環

03

ゆるやかな学際的ネットワーク

分野と組織を越えて研究者をつなぐ

目標　データに基づく意思決定を支える「信頼できる統計的因果推論技術」の確立

2025年11月27日 YNU研究拠点に認定（母体：統計科学研究室）

研究拠点メンバー

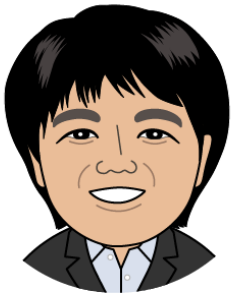
12名・6分野・3か国（日本・米国・UAE）



黒木学教授

横浜国立大学

工学



白川真一教授

横浜国立大学

情報科学



Kosuke Imai教授

ハーバード大学

政治学



佐藤俊哉特任教授

統計数理研究所
滋賀大学

医学



田栗正隆教授

東京医科大学

医学



星野崇宏教授

慶応義塾大学

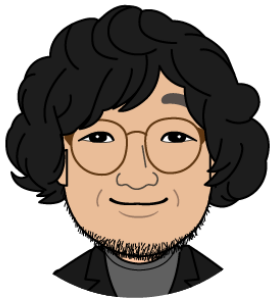
経済学



清水昌平教授

大阪大学
滋賀大学

情報科学



林岳彦主幹研究員

国立環境研究所

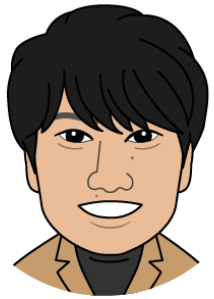
環境学



山本鉄平教授

早稲田大学

政治学



篠崎智大准教授

東京大学

医学



太田悠太助教

慶応義塾大学

経済学



川上裕大博士研究員

ムハンマド・ビン・
ザーイド人工知能大学

情報科学

研究活動状況

○ 学内外の研究グループとの連携

- 滋賀大学 DS・AIイノベーション研究推進センター
- 理化学研究所革新知能統合研究センター
- 順天堂大学 革新的医療技術開発研究センター
- 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
- MBZUAI（アラブ首長国連邦）

○ 外部資金の獲得

JST-CREST（研究分担）　2026年度～2031年度

○ 統計的因果推論セミナー

6回

2026年3月～10月

- AISTATS 2026・UAI 2026 採択研究の紹介
- 招へい研究者（MBZUAI）による連続セミナー
- 学内外の若手研究者による研究紹介

○ 学術活動

- 日本品質管理学会第23回ヤング・サマー・セミナー
- Journal of Causal Inference
- 日本品質管理学会誌
- Japanese Journal of Statistics and Data Science

研究活動状況

○ 研究実績　統計科学研究室（2025年11月～2026年9月）

7件　査読付き論文

8件　受賞・表彰

論文　Biometrika、Statistics and Probability Letters、応用統計学会誌、日本品質管理学会誌、土木学会 AI・データサイエンス論文集、AISTATS 2026、UAI 2026
受賞　ANQ Best Paper Award、日本品質管理学会 最優秀論文賞・研究奨励賞・優秀発表賞、日本経営工学会関東支部 発表奨励賞、学内表彰3件

○ 研究集会開催



https://causality.ynu.ac.jp/forum.html

今後の展望

○ 研究拠点が目指す未来

2026　いま
統計的因果推論研究者によるネットワーク形成と研究交流の基盤づくり

５年後
統計的因果推論の理論・技術・応用の学際的研究基盤を形成

10年後
統計的因果推論を社会の意思決定を支える基盤に

相関から、因果へ。

Beyond Correlation, Toward Causation

データ駆動型社会における、科学的で信頼性の高い意思決定を支える理論的基盤へ

causality.ynu.ac.jp